

ご挨拶

長崎県立豊玉高等学校のホームページをご覧いただきありがとうございます。

豊玉高校校長の松添です。50年もの伝統ある本校の校長として、喜びを感じるとともに、身の引き締まる思いであります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校は昭和25年5月に「対馬の中部にも高等学校を」という地域の方々の熱い思いにより長崎県立対馬高等学校定時制仁位分校として創立し、昭和39年4月の全日制課程への移行を経て、昭和48年4月に長崎県立豊玉高等学校として独立し、現在に至るまで確実に地歩を固めてまいりました。

本校は、悠久の歴史と緑豊かな大地、澄み渡る大海を臨む恵まれた自然環境のもと、「恕」「和衷協同」「切磋琢磨」の三綱を校訓に掲げ、思いやりの心を持ち、仲良く力を出し合い、互いに磨き上げることに日々取り組み、社会に貢献できる人間の育成に努めてきました。

さらに「関わる力、日本一 豊玉高校」のキャッチフレーズのもと、生徒、教職員、地域の方々との強い絆を胸に、ふるさと「対馬」を愛するとともにこれからも自らの学びを深め、本校の歴史に力強い新たなページを刻んでいこうと強く思っております。



これからも心豊かで人と人のつながりを大切にし、生徒一人一人に寄り添いながら、子どもたちの笑顔で溢れ、子どもたちの可能性を最大限に引き出す教育活動を追求し、ふるさとや国の未来を切り拓いていく人材の育成に全力で努めてまいります。

本校の教育は、地域の皆様、PTCA、同窓会、支援会議、その他多方面の関係者の皆様方との連携で成り立っております。私たち教職員も一丸となって邁進していきますので、本年度も引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

長崎県立豊玉高等学校
第23代校長 松添 秀喜